

仲道郁代

ピアノ・リサイタル
-piano recital-

ショパンのポロネーズと
バラード全曲を弾く!

Program

ショパン:

ポロネーズ第1番 嬰ハ短調 op.26-1

ポロネーズ第2番 変ホ短調 op.26-2

ポロネーズ第3番 イ長調 op.40-1「軍隊」

ポロネーズ第4番 ハ短調 op.40-2

ポロネーズ第5番 嬰ヘ短調 op.44

ポロネーズ第6番 変イ長調 op.53「英雄」

ポロネーズ第7番 変イ長調 op.61
「幻想ポロネーズ」

バラード第1番 ト短調 op.23

バラード第2番 ヘ長調 op.38

バラード第3番 変イ長調 op.47

バラード第4番 ヘ短調 op.52

2025

3.22 (土)

14:00開演(13:00開場)

ザ・シンフォニーホール

全席指定5,000円(税込) 主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonycorner.jp>

プレイガイド

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorner> (パソコン・携帯) ■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorner> [Lコード:51923]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorner/> [Pコード:271-017]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

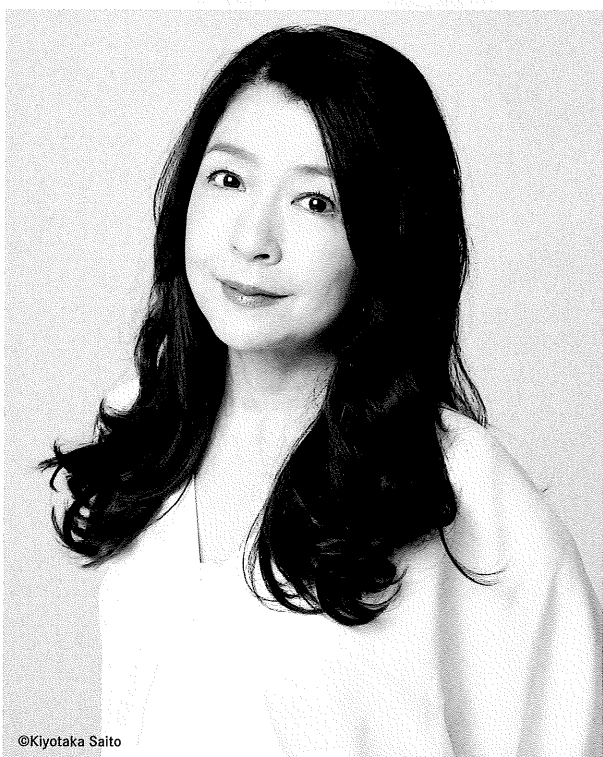
ショパンのポロネーズとバラード全曲を弾く！

華々しくデビュー後、着実にキャリアを重ね、今もまさに大輪の花を咲かせているピアニスト。それが人気、実力ともに日本を代表する仲道郁代である。若くして注目を浴びつつもつねに研鑽に励み、その演奏をじっくりと深化させてきた。近年はその成果がめざましく、令和3年の芸術祭参加公演「幻想曲の模様～心のかげらの万華鏡」では、リリシズムあふれるピアノを聞かせ高い評価を得たのは記憶に新しい。この演奏会は芸術祭大賞に輝いた。ザ・シンフォニーホールにもしばしば登場し、関西のファンにもすっかりおなじみの人気ピアニストだが、2024年1月公演「仲道郁代ショパンを弾く～円熟と悲しみ」では、ピアノの詩人のもつノスタルジーと哀愁とを巧みに表現して喝采を浴びた。

2025年3月22日のリサイタルは、前回に引き続きショパンをテーマとしている。ポロネーズとバラード全曲を聴くことで、ショパンの世界を味わいつくすことができるプログラムになっている。ポロネーズとは「ポーランド風」を意味する舞曲。マズルカがどちらかといえば民衆の踊りであるのに対して、ポロネーズは宮殿でゆったり歩みを進めるような貴族風の踊りが特徴である。三拍子でエレガントな雰囲気も漂うが、ショパンは従来のポロネーズの枠にとらわれない大胆な試みも行い、趣向を凝らした名作を残した。今回演奏される7曲のうち、「軍隊」「英雄」「幻想」といった呼称で親しまれている作品は、聞き覚えのある方もおられるにちがいない。とくに「英雄」は傑作で、仲道の渾身の名演に期待したい。ショパンはバラードを4曲書いている。バラードとは元は民族的な抒情詩に基づく歌曲などをさすが、ショパンの場合具体的な物語があるわけではない。ポーランドのロマン派文学との関連についてもいろいろあるが、起伏豊かで感興をそそる4曲はどれも聞きごたえたっぷり。繊細な抒情味と生き生きとしたドラマを仲道が描きだしてくれるのが、今から待ち遠しい。

文：伊藤制子

仲道郁代 Ikuyo Nakamichi , Piano



©Kiyotaka Saito

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。これまでに、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団などと共演。近年では、2022年にブダペストのリスト音楽院でヤーノシュ・コヴァーチュ指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と、そして2023年にはケン・シェ指揮バンクーバーメトロポリタンオーケストラと共演し高評された。CDはレコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」等をリリース。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」を展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

オフィシャル・ホームページ <https://www.ikuyo-nakamichi.com>